



2024年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月14日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6630 URL <https://www.ya-man.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 貴三代
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宮崎 昌也 (TEL)03-5665-7330
四半期報告書提出予定日 2024年3月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第3四半期の連結業績(2023年5月1日~2024年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第3四半期	25,604	△27.6	1,848	△67.6	2,071	△62.0	1,159	△67.6
2023年4月期第3四半期	35,389	11.7	5,711	△4.9	5,452	△13.0	3,574	△16.2

(注) 包括利益 2024年4月期第3四半期 1,167百万円 (△67.5%) 2023年4月期第3四半期 3,587百万円 (△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第3四半期	21.07	-
2023年4月期第3四半期	64.96	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第3四半期	30,669	25,887	84.4
2023年4月期	30,979	25,435	82.1

(参考) 自己資本 2024年4月期第3四半期 25,887百万円 2023年4月期 25,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	-	4.25	-	8.75	13.00
2024年4月期	-	4.25	-	-	-
2024年4月期(予想)	-	-	-	4.75	9.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
2. 配当予想の修正については、本日(2024年3月14日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。
3. 2023年4月期期末配当金の内訳 普通配当4円25銭、設立45周年記念配当4円50銭

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日~2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,430	△24.6	1,660	△72.9	1,830	△69.1	950	△75.7	17.27

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2. 業績予想の修正については、本日(2024年3月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年4月期3Q	58,348,880株	2023年4月期	58,348,880株
2024年4月期3Q	3,327,668株	2023年4月期	3,327,668株
2024年4月期3Q	55,021,212株	2023年4月期3Q	55,021,212株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2024年3月14日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが第5類に移行して行動制限が緩和されたことから、人流の増加やインバウンド需要の回帰が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、世界的な資源価格の高騰、不安定な為替変動、消費者物価の上昇などの影響は大きく、依然として先行きを見通せない状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、2023年6月に公表した新・中期経営計画「Going Global Strategy」に5か年の数値目標として掲げた「売上高700億円」の達成に向けて、2023年11月に旗艦店「YA-MAN the store GINZA」を東京・銀座にオープンさせたほか、FDA・NMPAなどの各国の認証登録の推進、「表情筋研究所」での産学共同研究や設備投資の強化、シェーバー・ヘアケアといった新カテゴリの立ち上げなどに注力してまいりました。

足元の物価高に加え、国内外の政情不安や自然災害が消費者マインドの低下を招いていることなどから、当第3四半期連結累計期間における売上高は25,604百万円(前年同四半期比27.6%減)、経常利益は2,071百万円(前年同四半期比62.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,159百万円(前年同四半期比67.6%減)といずれも前年同四半期を下回ることとなりました。

海外では、これまで好調に推移していた中国国内での販売が、ALPS処理水の問題に端を発した日本製品の買い控えや、2024年4月から始まるRF規制に向けた他メーカーのRF搭載美容機器の安売りによる市場の混乱などの影響を受け、想定以上に落ち込みました。

また、国内では、シェーバー・ヘアケアといった新カテゴリや直販部門のリピート施策について、未だ投資が先行し、売上の伸長に寄与することができませんでした。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、新製品の投入が遅れ、従来製品の販売が中心となったことから、売上高は3,098百万円(前年同四半期比44.7%減)、セグメント利益は758百万円(前年同四半期比62.5%減)と、前年同四半期を下回りました。

② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、家電量販店や百貨店などの店頭へ人流の回帰が見られたものの、既存カテゴリについては競合が増加していること、新カテゴリについては未だ投資が先行して売上に繋がるまでに時間を要していることから、売上高は5,810百万円(前年同四半期比8.2%減)、セグメント利益は847百万円(前年同四半期比46.5%減)と、前年同四半期を下回りました。

③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、自社ECサイトでのリピート商材への広告投資に注力しましたが、売上高は6,971百万円(前年同四半期比13.4%減)、セグメント利益は2,167百万円(前年同四半期比44.3%減)と、前年同四半期に及びませんでした。

なお、直販部門では、顧客管理、ニーズ分析、販売促進の高度化・効率化に向けて、直販ECシステムの刷新に取り組んでおり、2024年2月に新システムへの入替が完了いたしました。

今後は新システムを活用してお客様の利便性と満足度を向上させ、売上の拡大に繋げてまいります。

④ 海外部門

海外部門では、海外の通信販売業者、卸売業者、個人顧客等への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、中国向けの販売が、日本製品の買い控えやRF規制に伴う市場の混乱などの影響を大きく受けた結果、売上高は9,554百万円（前年同四半期比37.8%減）、セグメント利益は3,837百万円（前年同四半期比36.8%減）と、前年同四半期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ309百万円減少し、30,669百万円となりました。

現金及び預金の増加771百万円、未収入金の減少503百万円、商品及び製品の減少368百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少291百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ761百万円減少し、4,781百万円となりました。

持分法適用に伴う負債の増加468百万円、未払法人税等の減少494百万円、支払手形及び買掛金の減少488百万円、長期借入金の減少456百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ451百万円増加し、25,887百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,159百万円及び剰余金の配当715百万円による利益剰余金の増加444百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

海外では、中国国内向けの販売が、日本製品の買い控えやRF規制に伴う市場の混乱などの影響を受け、大きく落ち込むこととなりました。

当社は、2015年の中国市場への進出以来、中国における美容機器のリーディング・カンパニーとして、健全な市場形成とブランディングに継続して取り組んできており、今回の市場の混乱においても、ブランドを棄損するような販売は行っていません。

中国市場の減速は当面続くものと考えられますが、中国国内でのヤーマンブランドの認知度は高く、状況が変わる間までの一時的な落ち込みであると認識しております。

新たに設立した雅萌（浙江）電子商務有限公司において、中国国内でのBtoC事業に本格参入するなど、販路や製品展開の見直しを通じて売上の回復を目指してまいります。

また、中国を始めとする海外市場は中期経営計画の達成のために欠かせない重要な販路であることから、引き続き一定水準の投資を継続していくとともに、各国のお客様のニーズに沿った製品開発や各種認証の取得、「表情筋研究所」を中核とした効果効能の実証など、更なる付加価値の創造を通じて売上の伸長を図ってまいります。

国内では、新カテゴリであるシェーバー・ヘアケアに対する投資が先行しておりますが、これらのカテゴリは市場規模が大きいだけに、認知度を上げて売上に結び付くまでの時間がかかるものと想定しており、広告施策や製品展開の見直しを行いながら、シェアの拡大を目指してまいります。

さらに、サプライチェーンの見直し、広告宣伝の効率化、リピート商材の充実などにも注力し、コスト削減と売上の底上げを目指してまいります。

なお、今期が初年度となる新・中期経営計画については、今後見直しを行ってまいります。

2024年4月期の連結業績予想につきましては、2023年6月13日に開示した数値を本日（2024年3月14日）付で修正し、売上高32,430百万円（対前年度比24.6%減）、営業利益1,660百万円（対前年度比72.9%減）、経常利益1,830百万円（対前年度比69.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益950百万円（対前年度比75.7%減）としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,146,142	16,917,427
受取手形、売掛金及び契約資産	4,935,153	4,643,412
商品及び製品	4,018,266	3,649,695
仕掛品	8,030	8,517
原材料及び貯蔵品	1,106,204	1,192,195
未収入金	936,297	432,622
未収還付法人税等	1,291	1,936
その他	1,415,310	987,838
流動資産合計	28,566,696	27,833,646
固定資産		
有形固定資産	543,594	908,621
無形固定資産	590,776	680,004
投資その他の資産		
投資有価証券	300,000	300,000
関係会社株式	77,981	92,281
その他	900,477	855,012
投資その他の資産合計	1,278,459	1,247,294
固定資産合計	2,412,829	2,835,920
資産合計	30,979,525	30,669,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521,045	1,032,414
1年内返済予定の長期借入金	624,000	612,000
未払金	1,421,382	1,348,625
未払法人税等	494,696	52
賞与引当金	112,565	55,329
その他	508,062	863,651
流動負債合計	4,681,752	3,912,074
固定負債		
長期借入金	706,000	250,000
持分法適用に伴う負債	143,326	611,934
その他	12,500	7,636
固定負債合計	861,827	869,571
負債合計	5,543,580	4,781,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,432,431	1,432,431
利益剰余金	25,004,092	25,448,319
自己株式	△2,887,118	△2,887,118
株主資本合計	25,363,201	25,807,428
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	72,743	80,492
その他の包括利益累計額合計	72,743	80,492
純資産合計	25,435,945	25,887,921
負債純資産合計	30,979,525	30,669,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
売上高	35,389,072	25,604,894
売上原価	13,845,892	9,943,102
売上総利益	21,543,180	15,661,791
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	9,745,043	7,137,941
貸倒引当金繰入額	△136	—
給料及び手当	976,451	1,071,583
賞与引当金繰入額	48,814	55,329
減価償却費	157,512	147,083
研究開発費	551,104	774,366
その他	4,352,488	4,627,251
販売費及び一般管理費合計	15,831,279	13,813,556
営業利益	5,711,901	1,848,235
営業外収益		
受取利息	857	849
受取配当金	10,781	12,000
為替差益	77,179	706,323
その他	9,307	3,442
営業外収益合計	98,125	722,615
営業外費用		
支払利息	20,664	11,288
支払保証料	3,990	3,685
売上債権売却損	3,026	2,208
持分法による投資損失	276,188	476,537
寄付金	52,000	—
その他	1,250	5,764
営業外費用合計	357,120	499,484
経常利益	5,452,906	2,071,365
特別利益		
受取和解金	1,350	—
特別利益合計	1,350	—
特別損失		
損失負担金	57,457	—
固定資産除却損	17,666	25,403
特別損失合計	75,123	25,403
税金等調整前四半期純利益	5,379,132	2,045,962
法人税等	1,804,716	886,459
四半期純利益	3,574,415	1,159,503
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,574,415	1,159,503

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	3,574,415	1,159,503
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,624	31,430
持分法適用会社に対する持分相当額	8,821	△23,681
その他の包括利益合計	13,445	7,749
四半期包括利益	3,587,861	1,167,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,587,861	1,167,252
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	5,604,741	6,328,641	8,045,467	15,360,068	35,338,919	50,152	35,389,072	—	35,389,072
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	5,604,741	6,328,641	8,045,467	15,360,068	35,338,919	50,152	35,389,072	—	35,389,072
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,604,741	6,328,641	8,045,467	15,360,068	35,338,919	50,152	35,389,072	—	35,389,072
セグメント 利益	2,021,688	1,584,374	3,893,218	6,067,311	13,566,593	29,542	13,596,136	△7,884,234	5,711,901

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△7,884,234千円には、セグメント間取引消去23,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△7,854,688千円、未実現利益の消去△52,946千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	3,098,124	5,810,008	6,971,088	9,554,915	25,434,135	170,758	25,604,894	—	25,604,894
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	3,098,124	5,810,008	6,971,088	9,554,915	25,434,135	170,758	25,604,894	—	25,604,894
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,098,124	5,810,008	6,971,088	9,554,915	25,434,135	170,758	25,604,894	—	25,604,894
セグメント 利益	758,311	847,975	2,167,492	3,837,455	7,611,236	106,760	7,717,996	△5,869,761	1,848,235

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△5,869,761千円には、セグメント間取引消去23,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,893,161千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。